

# 三条北ロータリークラブ週報

No. 38



フランチェスコ・アレツォ RI 会長  
 第 2560 地区：室賀信宏ガバナー  
 三条北 RC：羽賀一真 会長

「よいことのために手を取りあおう」  
 ～UNITE FOR GOOD～  
 「ロータリーで善の循環を」  
 「初心にかえって新しいことへの挑戦」



会長：羽賀一真 幹事：森 宏 SAA：齋藤孝之輔

●例会日：火曜日 12：30～13：30 ●例会場：三条ロイヤルホテル Tel 0256-34-8111

◆本日の行事：

「クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー報告会」  
 「入会式」

◆本日の出席：46名中25名

◆先々回の出席率：45名中37名 82.22%  
 (前年同期 90.00%)

◆先週のメイクアップ(敬称略)：

5/7 三条 RC 石川勝行、石川友意  
 5/30 防減災セミナー 羽賀一真

\* 本日の配布書類等

・月信 6月号(閲覧)  
 ・週報 No.1838(HP)

## 会長挨拶：羽賀一真 会長



みなさん、こんにちは。6月に入り、今年度もいよいよあと1か月を切り、先ほどは今年度の最後の理事会を行ないました。今年度の当クラブ会員増強は純増5名という目標があったかと思いますが、現実には厳しかったです。今年度は、退会者が8名、入会者は大野信一さん、江田健一さん、鈴木宏彰さん、そして今日入会の沼田英次さんの4名で、そのうち2名(江田さん、沼田さん)は僕の紹介なので会長

職としての最低限の職責は果たせたのかもしれませんが、力及ばず純減4名となってしまいました。来年度も会員増強や退会防止にみんなでも努めて参りましょう。

さて、今日は以前から温存していた雑学ネタで「一般名詞化した商品名について」です。

アメリカ英語の「エレベーター(日本語では垂直式昇降機、イギリス英語ではリフト)」は元々が一般名詞(古代ギリシャのアルキメデスにまで遡る)であり、オース・エレベーター・カンパニーが安全装置付きのエレベーターを商品化したのですが、エスカレーターは商品名が一般名詞化したものとい

う違いがあります。商品名が一般名詞化するのには商品の開発販売を行なう企業としては非常に名誉なことではありますが、あまりにも日常会話にまで定着し過ぎてしまうと、他社製品との差別化という意味の商標戦略では成功したかどうかは賛否が分かれるかもしれないですね。もし三条北 RC の会社からも商品名が一般名詞化するような商品が出ればすごいなと思います(笑) それでは今日の CLLS 報告会よろしくお祈いします!

商品名(商標)	元の企業・ブランド	一般名称
ChatGPT	OpenAI	対話型 AI チャット
ホッチキス	トキ (E.H.ホッチキス社)	ステープラー
ウォシュレット	TOTO	温水洗浄便座
セロテープ	ニチバン	セロハンテープ
バンドエイド	ジョンソン・エンド・ジョンソン	絆創膏
ポスト・イット	3M	付箋紙
アロンアルファ	東亜合成	瞬間接着剤
サララップ	ダウ・ケミカル/旭化成	食品用ラップフィルム
タッパー	タッパーウェア社	プラスチック製密閉容器
オセロ	メガハウス	リバーシ
UFO キャッチャー	セガ	クレーンゲーム
宅急便	ヤマト運輸	宅配便
シーチキン	はごろもフーズ	ツナ缶
プチプチ	川上産業	気泡緩衝材
マジックテープ	クラレ	面ファスナー
冷えピタ	小林製薬	冷却ジェルシート
ホックイロ	興和(旧:白元)	使い捨てカイロ
エスカレーター	オース・エレベーターカンパニー	階段式昇降機



## 入会式:

### 沼田 英次 会員

(株)大進 代表取締役、 職業分類：損害保険業



## 幹事報告: 森 宏 幹事



- ・室賀ガバナーより、「室賀年度各種表彰推薦のお願い」
- ・富山ガバナーエレクトより、  
「クラブ活性化ワークショップのご案内」  
日時：7月25日(土)12:00~16:00 会場：ホテルオークラ新潟  
「2026-27年度地区大会の宿泊特別価格のご案内」
- ・2026-27年度地区ロータリー財団委員長より、  
「2026-27年度ロータリー財団セミナー開催のご案内」  
日時：7月18日(土)12:30~16:00 会場：ホテルイタリア軒
- ・2026-27年度地区米山記念奨学委員長より、  
「米山記念奨学委員長セミナーのご案内」  
日時：7月11日(土)14:00~18:00 会場：ホテルイタリア軒
- ・高田 RC より、「創立 70 周年記念誌」の送付
- ・三条南 RC より、「第 45 回 7 クラブ有志ゴルフ大会の御礼」
- ・三条 RAC より、「6 月第二例会のご案内」  
日時：6月18日(木)19:30~21:00 会場：三条・燕地域リサーチコア

## 第 11 回理事会議事録

開催日時	令和 8 年 6 月 2 日 (火) 16:50~17:40	
開催場所	三条ロイヤルホテル	
出席者	出席数 15 名 (委任状 2 名) / 15 名	
	羽賀一真、齋藤孝之輔、外山裕一、森宏、石川一昭、武田恒夫、米山忠俊、渋谷義徳、長谷川千佳、松山浩仁、田口実仁佳、佐藤義英、花井知之、石黒隆夫、野崎喜嗣	
	協議事項	協議結果
1.	退会届の件	樋口 勤 会員、6 月末日退会 承認
2.	移動例会決算案の件	承認
3.	会長幹事 SAA 慰労会企画の件	承認
4.	40 周年記念事業についての経過報告	三条駅東口の件、継続 報告
5.	その他	

## 委員会報告:



### 田口実仁佳 親睦活動委員長

「会長幹事 SAA 慰労会のご案内」

日時：6月23日(火)18:30

会場：三条ロイヤルホテル

会費：5,000 円

皆様のご参加をお願いいたします。



### 松山浩仁 青少年奉仕&ライラ委員長

「青少年交換プログラム募集のご案内」

【長期】2027年8月~2028年7月

対象:派遣時高校生

【短期】2027年7月~2027年8月

対象:派遣時高校生~19歳以下

詳しくは事務局までご連絡ください。

## ロータリー財団 BOX

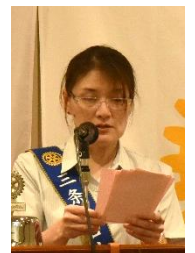
6月2日現在累計 437,000円

10&3 BOX 沼田 英次 会員、入会おめでとうございます!

## 米山奨学 BOX

6月2日現在累計 961,200円

- 羽賀 一真 君 沼田英次さんの入会を歓迎して。
- 森 宏 君 新入会員 沼田英次様を歓迎して。
- 米山 忠俊 君 新入会員 沼田英次さん、入会式おめでとうございます。
- 石黒 隆夫 君 沼田英次さん入会おめでとうございます。ロータリーライフを楽しんで下さい。クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー報告者の皆様、よろしくお願い致します。
- 松山 浩仁 君 沼田さん入会おめでとうございます。末永くよろしく申し上げます。
- 伊藤 博之 君 協力します。
- 大橋 桂子 君 沼田様入会おめでとうございます。ロータリーライフを満喫して下さい。





- 長谷川千佳 君 沼田さん、めどうございました。北ロータリークラブを楽しんで下さい。
- 羽賀一真 君 沼田英次さん、入会ありがとうございます。
- 森 宏 君 クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 報告会の皆様、ご苦勞様です。
- 齋藤孝之輔 君 沼田英次さま、ようこそ北ロータリークラブへ、どうぞよろしくお願ひ致します。
- 武田 恒夫 君 沼田英次様、入会おめでどうございます。ロータリー生活を楽しんでください。
- 落合 益夫 君 B O X に協力。
- 花井 知之 君 協力します。
- 外山 裕一 君 B O X に協力。
- 石川 一昭 君 沼田英次さん、入会おめでどうございます。ようこそ北 R C へ。
- 佐藤 義英 君 沼田さんの入会を祝して!! B O X に協力。
- 石川 友意 君 沼田社長さんの入会を大歓迎して!!
- 伊藤 博之 君 協力します。沼田さんようこそ!
- 田崎 尚志 君 沼田さん、入会ありがとうございます。本日もご協力ありがとうございます。

## 本日の行事: 「クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー(CLLS)報告会」



2026-27 年度

齋藤孝之輔 会長

国際ロータリー第 2560 地区

2026-2027 年度

C L L S (クラブ・リーダーシップ・  
ラーニングセミナー)

開催日: 2026 年 5 月 23 日 (土)

会場: ナスパニューオータニ

ホストクラブ/ 雪国魚沼ロータリークラブ

コ・ホストクラブ/十日町・小千谷・十日町北

津南・越後魚沼ロータリークラブ

### 1. 新年度の方針および連絡事項

セミナー名称の変更と新形式の導入

今年度より「地区研修協議会」から「CLLS (クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー)」へと名称が変更されました。単に話を聴くだけの勉強会から、参加者同士が意見を交換し合う「ラーニング形式 (対話型)」を新たに取り入れています。

2026-27 年度 国際ロータリー (RU) 会長方針

国際ロータリー オンラインカ・ハキーム・ババロラ会長  
メッセージ「持続可能なインパクトを生み出そう」



が示され、例として米山奨学金のような持続的な活動や、より歓迎的な姿勢の大切さが挙げられました。

新年度地区運営方針 (富山ガバナーエレクト)

第 2560 地区ロータリークラブの現状:

会員数減少傾向・女性会員数は微増、  
クラブ数は維持。

ロータリーの存在価値:

奉仕/高潔性/リーダーシップ/多様性/親睦

運営方針:

1. クラブの活性化
2. 会員増強
3. 地区補助金の積極的活用
4. D X (デジタル活用) の推進

数値目標:

1. 分区内会長・幹事会を年 3 回以上開催(リモート含む)
2. 2027 年 6 月末時点で 2,027 名以上  
(2025 年 6 月末 1,973 名)  
※毎年 6 月は転勤等により退会者が多い
3. 女性会員比率 10%以上、
4. 年次基金: 一人 150 ドル×会員数
5. ポリオプラス基金: 一人 30 ドル×会員数
6. 年次基金・ポリオプラス基金のゼロクラブをなくす
7. 恒久基金: ベネファクター新規認証者 10 名以上
8. ポールハリスフェロー: 各クラブ 1 名以上
9. ポールハリスソサイエティ: 新規認証者 10 名以上
10. 米山記念奨学会寄附: 一人 20,000 円×会員数
11. D D F 繰り越し 0 ドル
12. マイロータリー登録率 80%以上。

ラーニングセンター活用促進

行動計画:

ハラスメント防止の徹底、分区再編への取り組み

## 公式訪問についての案内(小野塚副幹事)

7月～10月末に25グループを訪問。

今年度の変更点として、現状報告書は紙媒体だけでなく「PDFデータでの提出も可」とし、懇談会には次期会長・幹事の出席も歓迎するとしました。

## 2. 高橋秀樹氏による卓話:

### 「なぜロータリーを辞めなかったのか」

元財団奨学生であり、現在は大学教員(歴史学)を務める高橋氏が、自身の経験から「退会を考えた苦悩」と「踏みとどまった理由」を率直に語っています。

### 入会のきっかけ

先輩からの勧誘ではなく、30歳年下の自分に対して面接時に誠実に頭を下げて講罪してくれた「ロータリアン(人)の素晴らしさ」に感銘を受け、入会を決めました。

### 度重なる退会の危機(苦悩)

サラリーマン(大学教員)の身として、毎週の例会に往復3時間かかる時間的負担や、個人で負担する年間40万円以上の経済的負担が極めて重かったこと。また、仕事上のメリットが一切なく、年齢の離れた会員たちに馴染めず、何度も退会を考えました。

### 辞めなかった3つの理由

**人の存在(先輩の面倒見の良さ)**: 入会初期の2年間、先輩が自分だけを2次会に誘い、じっくりと孤独や不満に寄り添ってくれたこと。また、魅力的な大人の会員に出会えたこと。

**恥をかいいた経験**: 20～30歳年上の百戦錬磨のリーダーたちの中で数々の和失敗と恥をかき、「ここで辞めたら負けだ。自分を成長させねばならない」と踏みとどまったこと。

**組織への責任感**: 役割を任された際、途中で投げ出せば「自分の業界や所属組織(新潟大学)の信頼を傷つける」という責任感(小心者ゆえの踏ん張り)があったこと。

### 結論として:

立派な奉仕の理念だけでなく、こうした泥臭い苦悩を抱える若手やサラリーマン会員もいるという視点を、今後の退会者を減らし、クラブを活性化するため参考にしてほしいと結びました。

1. 2026-27年度会長方針と「インパクト」の定義  
次期RI(国際ロータリー)会長オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏の方針に基づき、最重要キーワードである「インパクト」について説明されています。

クリエイティブ・ラスティング・インパクト(持続可能なインパクトを生み出そう)

インパクトとは、単なる衝撃ではなく「活動の結果もたらされた長期的に望ましい、測定可能な変化(効果・成果)」を意味します。

「投入リソース(資金・時間)」→「即時的な活動」→「成果(中期的な行動変化)」の先にある、活動がなければもたらされなかった長期的な改善を指します。

ロータリーの活動を通じて、「会員自身がより良い人間へと変わっていくこと」こそが、最も持続可能なインパクトであると示されました。

## 2. 地区運営方針・数値目標と退会防止策

富山ガバナーエレクトより、大体的な数値目標とクラブ活性化の施策が語られました。

### 主な数値目標

- ・各クラブ内での幹事会を年間3回以上開催すること。
- ・2027年6月末時点での会員数の維持、および女性会員比率10%以上の達成。
- ・年次基金(1人150ドル)、ポリオプラス基金(1人30ドル)、マイロータリー登録率80%以上の達成。

### 退会防止と会員の多様性

多くの会員が多忙や健康を理由に退会を考えるが、それは表向きの理由(言い訳)であることが多く、実際はクラブ内での孤立や居心地の悪さが原因であるため、全員で声をかけ合う居場所作りが重要。ベテラン会員の退会(あがり)を防ぐため、「企業会員」や年会費を抑えた「シニア会員」といった制度の新設・案内を推奨。

## 3. ハラスメント防止の徹底(72時間ルール)

地区内でも危機的な事例(特にお酒の席や青少年・留学生が関わる場面)が発生しているため、ハラスメント防止への厳格な対応が示されました。

### ハラスメントの定義

言葉のいじめ、容姿へのコメント(褒め言葉であっても相手が不快なら該当)、噂話、同意のない身体的接触など、「相手がハラスメントだと思えばハラ

メント」となる相対的なもの。

#### 危機管理と対応(72時間ルール)

何か問題が発生した場合は、黙り込まずに72時間以内に速やかに報告・連絡すること。

【ケーススタディ】女性会員が男性に体を触られたと会長に訴え、かつ「警察や理事会には言いたくない」と拒んだ場合でも、ロータリーの方針としては被害者目線だけに偏らず、「ハラスメントを一切容認せず、警察への連絡を強く勧め、再発防止の調査を行う(厳格に対処する)」のが正しい対応であると説明されました。

#### 4. 防災ネットワーク・地区会計報告・服装に関する質疑

##### 中越震災防災ネットワークセンター(小宮センター長)

全国でも新潟(2560地区)にしかない独特の組織。能登半島地震時などの支援に謝意を示しつつ、有事の際は混乱を防ぐため「各クラブ→ガバナー→センター」という一元化された連絡体制を徹底するよう要請。

##### 地区会計報告の承認

物価高などの影響で会議費等を2,000円値上げしたものの、各クラブの負担金は同額に据え置き。前年度からの繰越金(約5,270万円)や特別会計を活用する予算案が拍手で承認。

##### 例会時の服装に関する質疑記答

一人親方で電気工事を営む会員から「通常例会に綺麗な作業服で参加したら、女性会員からジャケット着用を求められた。ロータリアンとしての品位(気位)と服装の基準はどうあるべきか」という質問。

回答:RI(国際ロータリー)として服装の拘束規定(ルール)はない。他人に不快な思いをさせない公序良俗に反しない服であれば問題なく、国際本部のセミナーでもTシャツ姿の参加者は多い。お互いに良い人として、めげずに参加してほしいと回答。

##### 総括(古川氏による講評)

今年度の最重要テーマは「クリエイティブ・ラスティング・インパクト(持続可能なインパクトを生み出そう)」であるため、この言葉と正しい意味を必ず自クラブに持ち帰り、会員全員に分かりやすい言葉で伝えてほしいと締めくくられました。



#### 伊藤博之 親睦活動委員長

私が参加した分科会では、クラブの活性化についてのお話がありました。

「なぜ退会するのか」

「どのようなきっかけで入会したのか」

「退会を考えたことはあるのか」

「それでも退会しなかった理由は何か」といった点について触れられていきました。

ちなみに、退会理由の一つとしては「理念や目的に対する理解不足」が挙げられていました。振り返ってみると、確かに私も入会時にそうしたことを十分に聞いていたわけではなかったように感じました。

また、ロータリーだけに限られることではありませんが、多くの団体で会員減少が課題となっており、組織としての存在価値が問われているというお話もありました。

それでは、多くの会員が賛同できる「クラブ活性化」の要素とは何か?という問いに対し

- ① 会員基盤の維持・拡大
- ② 地域社会のニーズへの対応
- ③ 奉仕活動の充実
- ④ ロータリーリーダーの育成

という四つの柱が示されました。

これは千佳さんと私が関わっている業界団体とも非常に共通しており、特に社会貢献やリーダーシップが求められる点で大変共感致しました。

今回、最も印象に残ったのは、「ロータリー会員であること自体が素晴らしい価値である」という言葉です。

その言葉を聞いた時、実は入会前に野崎さんから同様のことを教えていただいたことを思い出しま



した。それはつまり、ロータリー活動に参加していることで、自ずとポリオ根絶活動や米山奨学や青少年育成事業などの様々な社会貢献活動に間接的に関わっているということです。

私自身もロータリー活動に参加するにつれ、そのような価値を徐々に感じられるようになってきました。

以上、私からの CLLS の報告となります。

最後に、今回の学びを踏まえ、次年度親睦活動委員会としてもクラブ活性化についてさらに考えていきたいと思っておりますので、会員の皆様のお力添えをいただければ幸いです。

引き続きよろしくお願い致します。



### 長谷川千佳 社会奉仕委員長

#### 第3セッション

社会奉仕委員会と、職業奉仕委員会の合同セッション

社会奉仕委員会では、宮嶋正明さんが講演してくれました。

2026-27年度の奉仕プログラム委員会は、基本方針として奉仕の原点である「職業奉仕」と「社会奉仕」の理念を再確認し、各クラブが地域社会の理解を深め、より意味深い奉仕活動を発展できるよう活動していきます。

まずは定款を見てみました。

次にロータリー章典を見てみました。

- ・各クラブの社会奉仕活動の情報共有と、クラブ活性化を目指す。
- ・地区補助金の申請状況、新規・継続事業の割合、予算、事業分野について報告がありました。

2026-27年度の社会奉仕委員会の活動目標は

#### 活動目標

- 1、社会奉仕活動の情報共有と他クラブへの波及
  - ・各クラブのユニークな社会奉仕事例を共有し、刺激とする。
  - ・他クラブの取り組みを参考とすることで、ク

ラブ活性化と奉仕活動の広がりを生む。

#### 具体的活動内容

奉仕プログラム委員会セミナーの開催

- ・地区内のクラブを対象に、社会奉仕・職業奉仕の原点を学びなおす機会を提供。
- ・実際の奉仕の実践や成功事例を交え、会員の気づきと行動へつなげる。

ガバナー月信8、9、10月号への掲載案内

地区補助金活用は

- ・地区補助金を活用予定の事業は28件
- ・非活用 of 事業は45件
- ・調査票回答事業数は73件でした、協力団体の有無は、協力団体あり29件、なし44件でした。

予算額区分別分析は

0～1万円が18件

10万～30万が26件

50万～は5件と一番多く、予算総額は1,300万、平均額は1事業当たり約13万円でした。

社会奉仕事業の取り組み分野としては

青少年育成系22件

環境保全系19件

地域交流系17件と

文化継承系は2件と少なかったのが、当クラブの実績が反映されるのではないかと考えます。

最後にはAIに評価をしてもらい

今回の事業群は、「地域の人間関係を守り、つながりを再生する奉仕」に重点が置かれている。

特に高齢者、障がい者、子供、地域文化への関心が強く、地域コミュニティの維持、向上を目的とした活動が多い。

今後は者参加、デジタル活用、地域経済、多文化共生、情報発信など、新しい課題へチャレンジする事業が増えると、さらにバランスの取れた社会奉仕が実現できると考えられている。

という話でした。

